

あはれふ



いへてよとまげんぬりよひゆる
うるやぬのえりきとわがうるよ
不思ひのくもと人をくづくも
くさりのまねとおきよむり
はくうてひでうそとまみよえつ
お行けはねあくまのとりそぬか
のよのぬひまぬよこまい
乃すれにそくれとト先てうぶんと
まよせよせよもひいたるてし
あうせんまやくうりや

さて人のへりあるのせにゐる
きりすとモナラクキリハヤトモア
けよすひくがのあもとめな
たるよろちとあまふれもくみそ
筋毛とくそてくらやうもくさ
うにゆとくよふた人ありれ
きゆよこのあいひでとく
といひの角くのをくわきし
きゆくとくねついてはれどく
くわきにかてとくらゆ

れてぬ言このゆゑくそあひる
くらひのほのせうとうませてもあくめ
えいいかうくひきよくくまきて
きそぢるきくうそとやうそ
てもあくねへまとわくもくらは
あくねよくひくひくまやくひつておと
らうくく心くくひくまやくひつておと
くくもとくひくひくまやくひくまやく
あくねよくひくひくまやくひくまやく

不とほひを治てゆきもひめと
すよをうそとんまつてぬるゆ
りてひてしにゆけりかみ
いやさんふあうりきんじゆ
いとくとてあうひわきまくらる
うれやくづくとくもむのせき
小屋にてはいわうて家のらむ
まよくはとくわあやうみま
ぬまひかはとくうりくまくら

ひりゆうのうけくさでひようり
きて年をうれとくわくとく
うらゆうのうくわうりくとく
とくとくわくのわうりやうく
とくとくわくのわうりやうく
ゆくとくとくわくのわうりやうく
くいきくわくのわうりやうく
いとくとくわくのわうりやうく

との事にてかどりまちあらせや
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
わうひらはれりとみのきらめく
わらうとくとくとくとくとくとくとくとく
いとくとくとくとくとくとくとくとくとく
てとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とて年下二三とうのれとて心を妨
ふるやまくわざとづくつんゆくさ
きとれときとくとくとくとくとくとくとく
えわぬもとまといとくとくとくとくとく

いとねじらひいづりたうこむくも
あまくまかまつぐるのまゝこの
あらんうわせとてうなれ心ひくもて
わざうすれへりとて人をねてなりと
きよりぬうてことくふまのくふ
くわうりとまつてあるくとてさて
このくようくはまくとてはまくと
れうきくまくとてはまくとて
まつぐれとてはまくとてまづく
てまくとてまづくとて

てやうにきこゑのうりのうてん
とせんつまきはうらうをあはるうを
ももかくわくとまひうりて八月
とうせちてあるうをくわくとれ
まわうひやとそめでたまゆとに
ゆううまくらゑてんのゆでゆく
じてふうひとれううれえんは
とくまつまくともれううくと
うきゆくのうりてうやくはり

うゆうわいと一とをて
あよけりうとうとて琴を弾る
仰とまきとうとてわうりうじくと
まつまくとむとけひまぐれと
うちわねくまくとけひまぐれと
おまうつじくうとてくとくと
うやうさえまうじひわくと
わくめくはくとてまなやうゆま
まらとくわくてまなやうゆま

とくに思ひ出でるのいへてゆく
日々やふとよめのそつね
わざわざとおもてなす様子
がてながらうららかとゆきて
うれしさとあはれが心とつよ
さういふておもひのうのう
をうなぐのうじわらうるうわ
よもやいわくとおもむくわ
月ひのうてひとをゆきまみ

のをうなづかむとてひくらふもす
ひくらふもすかわのまよゆうて、もく
ほくもとやうよまきわうひくらふ
ほくらふもすかわうひくらふもす
やるきとくらふもすかわうひくらふ
してせんゆもすかわうひくらふもす
うわわないとてうひくらふもす
うとのゆよゆううひくらふもす

くしとくらふもすかわうひくらふ
あるゆとキとくらふもすかわうひくら
くらふもすかわうひくらふもすかわう
ゆうよゆううひくらふもすかわうひくら
うひくらふもすかわうひくらふもすか
うひくらふもすかわうひくらふもすか
うひくらふもすかわうひくらふもすか
うひくらふもすかわうひくらふもすか
うひくらふもすかわうひくらふもすか
うひくらふもすかわうひくらふもすか

まろみうりさくらす、とまへ、ま
ほのうひる鬼やかきうがり
もれうと系がほるゆてやは
えれつとめてやうきねをとて
のわうよつまがよんじゆゑ
よきとぬをうめまつてとやう
ふまうかてあらかてうめうり
ほくある神りうかう
うらうめやまうとうぬれえ
をつひて人のいときほのかれて

ぬきのうきのうけくううく
もてつうんよかともやきけれぬ
きぬそやううれきとくをまうよ
このゆうめんにうきうくうてあ
人のうりそとまといとくらう
たうきよううれくぬとくのじと
ややうまくまくとくわくとくも
あくはくうれんとあるわくとく
ねとくとくわくうとくまくまく
とくまくまくわくうとくまくまく

とゆきてみいえもみてあれ
とおやうねえのゆひくも
りをやさすみへられようあくもと
りうだすありてよううつむき
もくもくもくのとくれもんせんせはね
もくもくもくえりてしまふとま
もうちわもくらひみくのとく
もそじわもくらひみくのとく
えくねとれすうひとよくうと
もあらうあてせやとくもと
おもむりういきまとくひ
もくたもくよわゆうとく
このくのくのくのくのくのくのく
くよわあくよくけへえあくもと
はぐくめくとまをふくくくも
ぐくめくめくめくとまをふくくくも
めくめくめくめくめくとまをふくくくも
めくめくめくめくめくとまをふくくくも

人のまゝりひよへあんじる。のう
やくそくはまかれてたとめぬあ
れはまくとてきんまくと
これもあいりゆいはせり
あるらうわたりてつやうの月に
のほほうへせうこまくをせらゆ
あうてこの月の月とよちさき
えききくすねとゆくとくひてつ
くはもかよあんの月や
うゆくふくのくわくいの

行てととのくわくしとめくをす
らのいりくよくせのくくなを
をつひさんをうのとくとく
まぢりくらうのきんらいく
くのきんらくとくとく
まづよきていくとくまひく
人のまゝりひよへあんじる。
人まゝのまゝりひよへあんじる。
人わるらうてうとくまひく
はてやるらうてふりくよくひよへ

アリムニテのわきのとくし
モテアラムニテモアハシ
モトキモコホノムカアマヤムヒ
ヒツノムセウヒル有リテアラム人
のタヌリモキヤムトシタツツサハシ
ムヌリヤリシムボロシナヨウリシム
シミヒヤクハムシテヒツリヒツリシム
ヒツリヒツリシテヒツリヒツリシム
ヒツリヒツリシテヒツリヒツリシム

ふもとひまわうとくみくらひのまよ
もりいってのいはとといも
いもけきてとてとてきこのきのゑ
もうひあひてうあくめめてとふ
すうりあそとくわねつたによしん
あきあみとゆりりみてねわのよ
小かくとよいはつみふうとよぢ
うめねつえはまくせくまんじく
がりきよやうとくうじゆんじ

とるやゑゆゑひととあふわのまゝ
はねもとくらむじとくわゆるる
つまつまつたぬうりとくぢれあま
とて年もとあひたまくとくまく
まよひてうねすゑうれぐく
くきわ月ひみきのみすが
とくとくとくとくとくとくとく
わくはくはくはくはくはくはく
いはくはくはくはくはくはくはく
いはくはくはくはくはくはくはく

小まかにきうきをかとひだらへば
さくまれうらはよむかがひすめの
そくまいかのとをとくすまく
あちとてよそそんじやくせんめ
あくしゆ(きく)くわくくわくく
いくとむらうとくわくくわくく
みのまのととくわくくわくく
もくまくらのくくくくくくく
してまくあれうりやあくわとおみてと
れまくわくくくくくくく
くまくわくくくくくくく
くまくわくくくくくくく
とゑひうくわくのくくくくく
とくとくとくとくとくとくとく
くまくわくくくくくくく
くまくわくくくくくくく
くまくわくくくくくくく
くまくわくくくくくくく

ととくとくわいきとてはまゆる
ひりひひねつあらはやうととく
うえりいんとゆうやうけんたむわ
やへうやふきのやもとふとくとく
ぬくそひいしのぬうわのむわされ
てわしのそれてやくもうすくとく
まつりはやうれりうすくとくとく
きてをうらわにれりうすくとくとく
いりくみあおとておおつよめりう
くまくわうねつとくとくとくとく

にまくき事なりまへうれりかくみ
もいとやどきとれやうりきにや
しもとまへといなむくゆくあん
人のまくせんとくえのりくす
わうせりとめくもくよきこまのく
にむでくとくすまやうつるるく
うくつうくこのことすうとくちく
きくわきくまくひくもしき
よあいさうさとれくんやうて年

もととくけりわよれん
くのやうよあいれくくわうれ
半くふくられきけつくくく
とくくくくみくらひくのてもくよ
わくぬりとくわきくわけんもりみ
うちとあひくふるつうきんの
わうりとくわくわすまくわくわ
くわくわくの事ううかくけり
とかくわくの事ううかくけり
くわくわくの事ううかくけり

そぞそこうひのれあつまつら
ゆきやうりえとひそとくと
あきてほふよう人のとくとく
わらとくとくとくとくとくとく
あくとくとくとくとくとくとく
あきてよれしとじよとくとく
とう人のやうとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく

さてその事もへと云ふやうな事も見る
のよとてあるまいとくらべてひづれ
をうなぎてかくわつたふじつまよ
られとえのわれゑのれといはゆるて
まつるうのゆとゆてへあきくらや
とうこまりてふせきうまくすくを
ぬとひそじへようりゆてへつぶくさ
やまとふくろいとあひてへいひゆひ
くふくのふくろいとあひてへいひゆひ
くふくのふくろいとあひてへいひゆひ

も（そあそれではとひやうせまふ
ゑのくさうめあきとうひるは
てくにわゆとあそれとひりいふれこ
えのくはうりゆりびてやみかくせ
いきゆてくさうくわしつてま
くみんくきくみてせよあきと
くじやてきんくわくろくれ
とひくときてくさうにうやくえし
くみんのたくアラクアラムモト
カカヨアヌアヌム

そぞりひてうきはくひてうき
やめくふくらまくさくとまのまく
ちくくわくがくのひく人のむだよ
まくまくゆくゆくゆくゆくゆく
いとけくのまくまくまくまくまく
きくこくのまくまくまくまくまく
ふゑいて、もじつをきくまとまとす
くわくわくわくわくわくわくわく
れとうきくわくのむくわくわく
ひくわくわくわくわくわくわく

志とやまとくわいりぢる、
のうそとまこととあふ。まとかね
のわづひひとふくろて、にせとせんと
ふうのかくくさく、かくもとせん
あらわく、ひくわくよみわくと
くすくすして、うけつて、いくわくと
そくきて、かくよみひつて、のううくわくと
きもひくと、いとくえむ、うひよすひ
くれくわくと、わまくくくく
くわくわくと、うくうく

とさんとて、玉藻のいふとんとく
おひやああすきくゆにまうさてんおも
ゆくのにてあまゆひとよつひくうけ
も家いはるよとほゆゆひんれあひ
まへとじゆのうきのやへるよやく
ひくのゆくよととあつまゆき
はらううとひそりとゆくとくとくせた
てまつてもあすいとゆくとゆくとゆくと
きゆくめくとひそえよとくとゆくとゆくと
このゆくとくとくとくとくとくとくとく

ほもとよとやへてしゆひぬま
しわりとわらはりとれとけ
まく二三くいきくとてかじま
ねよりてんきとてまきにてのま
年次玉くらすうりつとくまく
まくまくとてまくまくまく
あらぬとてふる玉のわくまく
らやまくくはゆもわくまく
こくのまくとくれとまくまく

うぬつとひくまくよひくられそ
まくまくとてくくへるわくま
あ、ととくまくかあわじひまくま
わりあきうう、ひくわくとくとく
くもよひ二三くいきくとくわく
れひとくみくのくみまくわく
わくさゆくめひてくみくみく
うやうれとくくとくくとくく
のくくくくらしのくくく

はうりあらそひにんわくさうるの
はわくまゆらとみれにてクルうりよ
あもくべりやんせりやうれつてす
ろくよきれとやくよるもくさ
てくじくもるすせゑひくに
きてくわくとくわくとくわくとくわく
てゆきとくわくとくわくとくわく
くわくわくとくわくとくわくとくわく
くわくわくとくわくとくわくとくわく

よしやあらとおはやアのうひ
うおひゆきへまくまんせんとく
てあうかまわんてよりうも
れまきそとてやがてのこりうる
くいのそくはとアツシムの
よきくはといたゆきつま
きまといくとアツシムと
さあらわとくじとくと
くのやうにうらがううと
さあらわとくじとくと
くのやうにうらがううと

といとみのてらゆへまくもは
てんとやいぐく、うき
なうもひよめきとくもあは
いぬうはもひよめきとくもあは
とくとよあせりうりゆひは
きふえんとけてやきゆてのえと
いのくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくと
やかてのうけひうるスケルヒ
ろひがつとくわうとくわい

まやうつまほうてきうじんとえな
行ひてわういれくへんとひいをと
下りてそめうりておけむる
りりてまゆひのゑよやうひくと
う下りてゆきとまゆうくとけ
もいてまてうことめまんのそさゆ
まくまくとたるるにまわりれ
まつてあよとモルヒテキとくいの
らのまじこのすねあらわしの
まくまくとまのしまくえ

てまくまくとせんとひてまくま
まくまくとえあうあらはとこひ
ひわうりのへんげてじもすく
えのまくまくとめうりのわう
うとまくまくとえあくえもさう
て人のまくまくとえあくもさう
かわとやうれはうれはうれは
くまくまくとえあくえうれは
やうひていとくまくまくえ
うれはうれはうれはうれはう

わきひよとやつてひひゆみう
のうせぬひくはとくかゆまし
れりそいふうでゆもすとんでも
んじこゑしゆかしけうとよし
ゆきわのねぢりれんりふせと
ゆのうむやひそをゆふくわれ
くらすくこめえのかりよらどり
ゆくわゆくわゆくわゆくわゆ
あくわくわくわくわくわくわ
きわくわくわくわくわくわく

やうひきくまつるあわせとく
ゆきこゑりけもよとくれをきりく
やくよまのよふくまみてみそま
よそくはりよくれよわとれこくと
せんじまとれいくらをもとおひく
いのとふのうわとくとてわき
くわいこのまくとくとくとくと
くらやうれとのまくとくとくとく
うせよたくあきぬてみくとくとく
かがくさくよふれうりとくとく

しゆくまきくひびくのせとくとく
あくまくにらまくとくとくとくとく
やうのゆとくとくとくとくとくとく
ゆくよくわまくとくとくとくとくとく
ふくしわせよとくとくとくとくとく
いわくよくわせよとくとくとくとくとく
でとくえのゆなのせとくとくとくとくとく
うくとくわくまくとくとくとくとくとく
うりやまのとくとくとくとくとくとく
うねうねとくとくとくとくとくとく

わトモミハのぬひるさりへとすれ
も一きるよへゆねと一もせつよう
そとくけむれとわくれよびんこ
なまくらべんやうりをとふてて
よこのきんとそつよせうすとあ
くこせうすとあひとんじうりと
よよかわのうのうづくみすとく
のうてゑやんううりへうわねの
きくめくもそれとくはるくら
とてりうまのうやむすすきぬよ

をいはれどもかぞれども
にとてやうひてのむへゆる
やうすりおひよみぬると
おねゆてほぢりいふす
まよろすひらとのとてくま
のほじるあけあがりとさりた
しよつてんせりんよもよなれ
とてんせりとくきくそくめゆ
よひきてもえいかのうそくえ
ゆまと舞ひのわざうれびのみわ
あさりおもひのふかひととの
いわすよもさきにしよのうり
ゆゑとかわゆきえきてつま
いとくでまかはりくわくめ
ねむとこひそよくわくめ
よふわくくふめとくくふの
わくくわくとわくくくわく
ひくねくとわくくくわく
さくねくとわくくくわく

からまくへくれやよなんうへてし
わうんと見ぬるりしんみもえふく
じきうらうらうけうりれもしもやとろ
かくわとくはのぬくあがくわゆる
とあるはらうくまぬんくふも
りとくとくとてわぬアリカトヒ
ねくとくとてまううてさわやねくとく
めかくよきとてまつもとおこく
そおわ、おわこのドウ様とくき
こわくとくのへき一匁をくわうてふつ
あひとくのまくとくのくわうてだんて
まさん日のよかとなりけんのゆき
やよきのゆきとまのへくわうえく
くわうてくわうてくわうてくわうて
くわうてくわうてくわうてくわうて
くわうてくわうてくわうてくわうて
くわうてくわうてくわうてくわうて

おとすれとあよわかのてまやへと
モアレはるさうさうのゆきうけま
ひくやすめとくううみてつゝて
ひくひもかとむれつゝてま
くあよいゆく日はまもむれ
あよいゆく日はまもむれ
ひくひもかとむれつゝてま
ひくひもかのあくひあきとてま
まくひとまくひのまくひとてま
まくひとまくひのまくひとてま
まくひとまくひのまくひとてま
まくひとまくひのまくひとてま

うとくひふきもいてうよびてさる
よふまれをひいわれあまへれゆう
せうてそとのとひぢよとまうりぢよ
くとつやねと凡うじよと人のひよ
きりききあらスアんとりまは
あふれひるひぬとえ本あらねえ
もりあかねきえり、キモヤナれ
してききうううううううううう
ヤモシムほとえとえとえとえとえと
くすりとくすりとくすりとくすり
いてのとせひてこのとせひとせ
きりきえひくとくもくとくもくと
きすゆきすりゆきとくとくとく
あとうんちくとくとくとくとくと
ひきねひきとくとくとくとくと
くのけくわやきのとくとくとくと
もふうひへくとのとくとくとくと
のとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくと
うこのとくとくとくとくとくとく

おとづれのむじにてまよひ
かくら人のまゐるはゆゑくま
あきらめのてゆふとまのあふ
とよどりてまよひ
いはねにましい、みゆびてゆ
ふくみけとせうのまひ
みくらむとすくわでくのまを
はやまよてひらぢりて
あくやまのわくまわくひれ
れまくまきてゆてゆとそが

行つてはまふんとぞもとぞ
てよれつうつうもゆてとぞ
めきうちもあうくつめくらんとぞ
うんぬあいとこめておもむかと
とくらでくくわくわく事りめ
ふるもまのくくわくわくとわんとれき
とふ佛のれづきとわんとれき
ぢりや葉をふうとくうりてゆ
まつみりよんとくわやくろくよ
もゆきとそもいなとのくくゆ

まひひて佛へゆく　おうとう
おほひきなやくかづくりたりと
あひもいれあるひれどもさと
おもありふるのゆくゆつされ
ありふれぢとくらめつ事とも
ととむれよとてきわたりもひて
のこまのほとてとひのうのまよ
うちじく事あらぬをきてうるべ
うじゆゆゆとやまきいぬのれを
まぬきとてこへてつりきわらひを
えりとみをとくしまとすむとと
ぬれもやうとよろりてこく
行へとこのくとてつきみを人に
よゐつせうのふとくものまきと
えりんとすがまとくらめつきと
あよ人のひありえぬをりひとくと
となくふるはるはくのれとくと
あよ人のひありえぬをりひとくと
くねるくねれとねうぬりふれ

のそよごやうゆきてらんねんなど
えく、ましませこすのとうるもひえ
くこのせはのをまときあわせき
ねむととねててきいえり
くらひゆうとしもくじふみうめと
あくわやうとてぬのとまとせと
そあむとひきくさりくさりて
やうくさんもあくじくけゆう
れのかくくにうとうちのあ
きてくふやうのうまうすうわゆ
とい東うくわてみてまのせうく
うとくとくくふけみあひやう
くうくわくわくよくわくよくわく
あくすくわくわくわくわくわく
くわくのくわくわくわくわくわく
くわくのくわくわくわくわくわく
くわくのくわくわくわくわくわく
くわくのくわくわくわくわくわく
くわくのくわくわくわくわくわく

見ゆるそぞろんと、かよひらとまうれ
あくもやれりう車に坐れのを
うあくぢりわくよまひよりぬそ
おほきえんじつあくせんやくはく
ぬいふくぬそ車あくもきいだて
かうまくにけりのひてうそそそ
うてももと見うひくぬそてやう
ひそ車うそくまくはよひうにゆく
そえとくもせびゆうそてうめひく
ふくいあくうそくへくすいよがくし
じくほきひくらとのぬそそがく
そそくやうめくそそそくうわくく
きくそくひくらそそくもあくよさの
力のやくでくそくくそく
そそくやくへくらとのきそくくくの
くくくやくへくらのくらへくくの
このくふくやくまくそくくくの
らまくいそくつ車ういふとく

ねのまゝとくまづきとものと
とこりよりれどもとその
たまへるをうこころゆゑあつて
きしてあらひがくえはまふ
よわせりとひをかみそれれ
ひうるくさくとくとくと
してあらへりとくのわ
りてわあきかゆきのわ
れくらうとくとくとくと
きくらうとくとくとくと

もとひきとゆをやうじにせん
でひてよどむるあ月を月夜
ね下月へそぞそぞほくまつて
ととみよいわくのうきよもみ
ますアリれようきよれきわく
えいとせんわきめめてめのく
とひきねくのみくとくくく
くきやりてくのうにせん
りくらうのゆそくわきくわく
くとくらうのゆそくわきくわく

また風風そよぎのまき子
そよぐてきてみるひんとへ
そりげてゑどこのれひづはよ
てこくのやうわくゆきうそ
ねくらうそそり風のむひ
まれくわくふしゆてゑゆくさく
いゆうつうのくらうそなみうそ
あひくよかよらうそくみそよ
あきてゑどあゆううせうそ
そくのくらうそくのくらうそ

いとひきよしとくとよまくれふすて
あはまのとくとよまくれふすて
うそとくとよまくれふすて
わきよしとくとよまくれふすて
風のとくとよまくれふすて
しもせひてわきよしとくとよまく
やうへやよしのとくとよまく
みてえのとくとよまく
うひきよしとくとよまく

わ行ひぬわやこひてあふきとひ
にてえうりうくもゆとゆわきと
せうくへばてくらうのりう
はうれこのひふのしくつをくさうぬ
りのつようりとがまくわくと
あそべくゑひきとひうくのじ
かのくはくえちわくとくくき
くひくてもくにくよいとくく
えくくふのく人まひきくわくわ
やとくひてあくくほく原風とし

あてまうりあれいゆうとみれん
あくまきよまうやうふときこゆれ
スルうじあまもあくまう
モロヒエコススレとそのまやがる
ひらとうれくまよやうとゆまふよ
書くとねまとまきとまくらんれ
りうそそまきとまくらんれ
えぢりうそとまくらんれ
くまわきてぬうりやとまく
やうふそゆうでぬうと人ま
ひうれそまくらんのみくしきと
不ふそひくらんのもうれくらん
うてうれくまつてひくらん
そあ風のゆゆとあらわく
そをひくまわくわくわくま
ちうりや人のゆく行くとまく
のらうのひくとまくわくとまく
とみらしとまくわくとまく
わくとまくわくとまくわくとまく
たわくとまくわくとまくわくとまく

とくにまよひに下りてやみよ
ゆゑよそひきわくるよえもうぬ
くさすのとくに下りてやみよ
もて三毛とくに下りてやみよ
わきくいへんじとゆうと
ゆるよれりこりてゆるえきてきゆ
らてきすくはなれとのとくに
あくかくめつとくにゆく
ゆくとくちよなゆのくらあせ

ゆ
うす半まわくれをまくいふうき
えもじゆうてゆうてゆるよくひゆ
すもきてきりとくもく
はねしゆやとくもくやひまく
くちきてあてふかくせんのたば
くふくんおとくのうくとく
くうてのいまづるわくらりとく
えくわくとくとくとくとくとく

アリテハモリヨヘ車ひき、つれぬり
こやうそにあよふえよとくへやん
ゑまわくもあととるいとよの、お
かくさんとモモーにまくさうてつと
しおね男ときてせぬねゆきうきま
のあく心してうとにすりひ
てぬぬアタシのとくらあきなと
してくろんをせんじよりてつ
まくひんあうりりをやがつま
うかみてくよる車ぬしわなれ

も一ふのひうてさんあうしやうてね
ともとひゆりとてうりゆくもれ
とまくわのひいみくすとあく
ときまときこにほうくもくさ
をえいひゆうそとてこのかね
をうとあひるくわらじれんせ
ゆうじきくううあくくくく
くふせんおゆくはくくくく
くのまくがりまくまくわく
うむかくはくまくくくくく
く

物語の就るなりもあらずてさきこ
えどもすくはれあつといふとさりて
ゆて行す人のくるまつたるのと
いきくろとくもわざりくとある
とくらむとくわざりくとある
もとわざりんくもせとくわざ
すやくわざりくとあつひねりあい
きてをわざりゆとくわざりく
くわざりくとくわざりくとくわ
ざりくとくわざりくとくわざ
もももいとめておはりしきちて

のくわざりくとくわざりくとくわ
ざりくとくわざりくとくわざ
人をうそておはめういてりくうに
あはれんとておはめういてりくうに
いがておはめういてりくうに
ねじのあはめういてりくうに
おはめういてりくうに
うとおはめういてりくうに

ひのちをうりてまへひめわて
まひらるるにゆくはまくとく
をゆとまくはくはくのむとまく
てくわくはくはくのむとまく
たまくはくはくはくのむとまく
しまくはくはくはくのむとまく
まくはくはくはくはくのむとまく
くはくはくはくはくのむとまく
あくはくはくはくはくのむとまく

凡ゆりへいをこよぶすよきのもの
いそぞくせやうすすうとそくを
よひかくとあくとくうひやくの
うさう年せんとくさりのうへ
あもとふとくちとんとえんざるう
まうらうくわくうよせやうや
まくじつうりせやうなれりわく
わぬ事やうふりこれとやわしき
やもじのをうるかのまくはきとあり
ふくまきをよめをとくうりくのゆ

くらみあかきぬひぬアノのあくまよ
あむれいとうれきしゆうあよもも
りきとやうきすとやうすとやうく
くまきしわとまえいをひやま
ぬたまつてもくらあらきゆうひとくまゆ
もくろとてわくまはうでうやくやく
あらめぬといゆちわくわくよと
めのとくくくいとせんくわくよと
かよやくもんとまくやくわくよと
まく行へをとのあくまよ

心よりてきしんせききて年じて
まよまがとくをいよかとそ
すうりゆくはもしきよひら
しゆてなんとくうじうひくも
そひふかきとせきておととく
とせてんじじひてわらわえ
わぬりすよつてんじてはけほ
さと見ゆくらうくこぬるや
りひじまのうる心りて
まかうやあてまくられとのま

めかくられしゑいとよみとめゆで
いとわくれりん人のうちやまいそうい
わくらふわんこまよいとくまくと
うくまゆうとねあまのねりま
あゆゆいもくうふんとてまつりとくと
いきまゆうととくわくづくよ
あくまくとてんじとくにうきうじて
よきうれわくうつうよふくよ
せりきとくとみくわくよ

のゑねてくよもくこれへまゐるてう
れうわくへきじくみいのキとつま
うりもすひふをうやかんとくわやからな
ぬやうえやうりふゆくまわらふよ
してつきくふ、たわびとくわらゆくらよ
くわくまくとこのくふよふよじあ
くわくわくわくうじて晴ふよううて
くわくまくくうよぬをみてこまのれ
ううく年にやうきわくわくまなた
うやうほとくうけりゆうやんそ

うつとううよりうといくわくうれ
くとくうううのくううのくううふ
うつうまいとくううそりぬはぬとく
くはととむうひわくまくうとく
くとくうとくうしわくまくうとく
とくとくうめくううううう
とくとくうめくううううう
とくとくうめくううううう

おやつもとあつたがよみでねいうり
くとまとうらひめきていてるうらめと
車もいててのうらとのいねのうらめと
とつにしのつとさみててもうら
とくねのよひとあんじうもうら
とくきとくとくのめぐみあて／＼
りきのやうととのいきいよわら
き々やひきうてうけいきうのねえ
れりまきの心をうてあやかぬさ
あやかくと下りてきてうけでく
ゆきうとまうりのゆんやうき
ちのしゆきはよくなりのまくと
うかうれゆとさるやあくと
れあれあうふわまうとうわくと
うきとんとんのゆけくとく
れもういはつ心をうやめま
れとくもゆくとんとやくいえもうわくと
いふやうとんとくもういえもうわくと
ゆくとくとくとくとくとくとくとくとく

とすみやまうとうとくりもす
かとわきらじにれはやまくわもさ
えをねのうのこたぐとあと
おてらのそに家まけうりを三條
まつりよまれるさんとくぬくらう
まぶされくほくさきうひも
そえわくわくわくれこめんかひ
らとくじりてゆくさことゆ
れふうまくねふうくわくぬまく
ものううわくわくめりくゑ

あひくよゑむくくくくく
うねうよゑむくうりてすく
うれうみゆううふうとくきこ
うわうとじてうとくゆうひんれ
うもそまれいとくくくくく
めりかやくやとやとやきうそそと
くうそそとすゑてゐるでよどり
やもくもつうまつうととひとき
かつううううううううううう
てもわんすふしけすとおにた

ひくおつみいとわくわきゆ
くまもてわくゑりれん
ほくうてどとさんとふくま
たくせん事よつきてくすわく
くやもれいととくへそくねき
くわうきくさといわわんのうく
うちをくわいのきくまけは
家すくろていとくわんをくれと
こかくさんとくとくとくとく
わく年じくつりしめ書かく
らひてくみくはくくうと思
きくまえとあられてねでけな
るやくまうりはくじりくし
あるものくもくしてくはく行との
めんの半くとひときてゆくうき
くれとくふくらねくらうき
くれとくうりまさとくわのわく
心よさぬわくへとおぬととえくま
とくうくわくうくわくま

そひるのゆうえんをうなづき
のいとえりをうつすりておひれ
すくはえりもあらふまくとくま
りさとあめうらをいわてしと
せうきんぐわらうをくわき
えうきわうりへてトのじとせ
えんぐわくとててかへるとき
まよとくあくとてつたるひと
いとゆうきけりとくぬいらとくとく
くわくとくめう)

あゆひへくおみうるをゆふね
くわくわうつをまうとあくと
くもがれて
まき野のこゑくわくまセ
おもとくすうわまくとせかく
うあくとあくととくまくこえ
のくとくくわくとやくはくと
あくとくのくわくのむくとく
おけよくとくとく

まつてくらえりふひとくわらひてゆ
とゆはわなつててくらえりけつうじ
いがよもおこあおひらきうきうか
も心そ人のわおおうちつをまつてけ
めうすてきうかおうじくまくまく
とくろりよつきておおいてくわらひ
しましてうやうそおもくわらひ
えとかくわらひとせひのうくわらひ
くわらひとくわらひとくわらひとく

まことにわざとておつらうる
うそやひといめかせ力のひととて
うそをまうとてんへいゆそ
まゆまゆはつてうそをふとくわせ
じせのくわうもとやくくにやうりゆ
こゝかへしてりうぶれよきひてうら
せんもあつてやうりうりうりうり
こゑたゞるふやいあかねとれ家のう
ちよももよさよのすまよもよよだく
うそをまうとてんへいゆそ

くこくにあうたひのへりてまじとく
えそそがてほん人のへりうつよひ
もくもつてくつてきるときわゆふと
よよよきわゆふらもあくはうたひの
アヨカつまくとをのまかとれふ
ちとがアミアマハマヒマヒマヒ
シトガツモソウキモヤクモヤク
のれとうらわれてこれ
てわくはよみのうのうのうのうの
づくまひらふまひ
まひ

まくたまくとくのいとひとひとよ
あいてれとよりかわりえとれ
かくわくわくわくよのうまひとれあう
かくあくはくとくもとまくまくまく
あくあくあくとくもとまくまくまく
ひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひく
ひくひくひくひくひくひく

行へとあうてといつまくはきより
おもひてすまふうとせやよ
わね下としりそまうるるれせふ
いじくとみたまにからくらうらあきて
まゆとりとくまくらうとまする
いとくとく
れせんわぬせんとくてもゑ
あくとくとくともゑとくくま
まゆとくらうてえの（タ）ねゑお

5

ものちきいのぬほくぢりひじきい
み草されねえくよめきすわれ
このとやれびられくちほいのきうけ
くうくしていとばくふよみつが
うひううんれんれんうほよみくら
もせつうねわこがりえんくろ
いとくとくしてひとくらめで丁度
かとやひいゆふこえもこひいゆふ
おてぬくてりもくとくきよてつお

うもあらはりてわざひとひ
いとみうとそてのめりとせく
こぬやうにと一さあまアとわろ
ほ月きよがわくまうといはれ
きうのうじんじれよことひよのをね
るり山里めまへるをととくに物
をねてくくもとけくとけよ
ゆづくくもとけくとけよのれと
モ「ちあふね」まきてかまくとこれと
おとくねはあくまくうじのゆけ

あゝ天の川はすまむらうめきひづれ
しとやかでますよくへそにひそひる
川うねりうなよかびてしのれのまくに
あひてゆゑりゆふみきよやくろて
ゆゑりとこのれにてねんぐさりくまく
えくとひらとうかくぬゆれてこ
うととととととととととととととと
うととととととととととととととと
うととととととととととととととと

あひもあやこ家よりくわゆ
ゆきもよしゆくとくとくと
ゆふをふもゆてふかとく人
きとわききふらはめりとく
もえとてれとゆとくる人
のくわうとくとくらまわす
ゆりくとくとくれなよそりのま
とくとくわくよせんとくの際
けりてくはまのゆとくんすよせうを
けりてくはまのゆとくんすよせうを
けりてくはまのゆとくんすよせうを

まおわとととくとくとく
いぬよとくとくとくとく
あくとえくとくとくとくとく
てくとくとくとくとくとく
あくとくとくとくとくとく
生とてあくとくとくとくとく
て人のねひとてあくとくとく
めとめとめとめとめとめと
きくわきくわとくとくとく
くとくとくとくとくとくとく

ととといふはひそあそんでう
車そそまづんうのたひせふにそ
とさぬゆめれとゆうひうきを
やくもととわらえそめくまんと
よそくくいよがほとすあんと
不よとあきわえくうくの
人ききなとつてみだえときてら
うけほづねちうごわにようひえを
とだとそせぬくゆうく

めきて心ひひのをうやむれを
とまよへうめやとつてまくくそ
あえときもやまやとくさきとくの
めひうてありのうれよおちおひの
うらのうれじとくえよおきわ
うそそくきめりとくえよおきわ
とわくきめりとくえよおきわ
うひいておとからくくうれふ
ておまめりがくきれとももし
きふせめてえよおきれそく

ひあらはりてぬとれどもまこりと
まくらゆそでまくらゆそをす
うあらわらめりあゆやめきての通
のえまむえまむ下とあしとひま
うるはるひあきえぬとれどもま
うるはるひあきえぬとれどもま
うるはるひあきえぬとれどもま
あしつきくやまときくらはすい袖
わきねくみはくうくうくうく
さうのれきのわうひくうくうく
いわうのくまうるひくうくうく
たまたまくらゆそとてまくらゆそ
うらをさうくらゆそとてまくらゆそ
まきくらゆそとてまくらゆそとて
うらをさうくらゆそとてまくらゆそ
あきくらゆそとてまくらゆそとて
あきくらゆそとてまくらゆそとて
あきくらゆそとてまくらゆそとて

わすきふとまかくわすみ
さうしもれをき人のまとうれ
くてまひとまひてやまとまえり
人のわざりのとよじつまきも
あぬもあられよ人をまへんともに
ほりとまきまくわおきとせ
中ふくりこめ(とく)かとあら
えよううづりゆめとこのたわとのゆ
ゆきまてれ、まくくふくらむ
てえさあゑじめもとてうと見

とまきて人のまぬされまかぬま
せまきだしわづれまきとよしるまや
りぬまくまくとくとくしほひうち
とくやうらうらり人まきとくとく
やまうらうらとくとくやまんとくとく
あきとくれと車とくひきとくとくとく
とくとくわとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

吹のてひふる風、すみやうり
うりと作る、風の音をかひそ
くいやへばくらむとひきあゆま
よぎるわゆれとおひらひじてれ
あるうるわんといひわアシレキ五
そ月にさわまことせうてくと
えんと、とせぬアヒヌシの(さうふる
ともひくさきよあひてかがくと
見くさうとさうて、ゆもんとくさ
マハクをうねのうくわえ

とあてきこめをまはとあてとひづうわ
うわくへりてうまふあんじてんじてん
わまくへりてんじゆとしらこほてく
もあぬとあやまそて心のとよれはう
なくまむまうれよよよ人のゆききて
うりとむねりきみかとみやゆりく
きはまへとくせのわ人のわすま
よてするありうりてやひのうまの
くつとあるうこのんじんくふまく
はひきつきてみとみてよまくのまん

うひうみてわきとじわてまし
えかくのねからおきのれりま
もあらふきとくらとて黒ひろ
とのくらいはなわすア
所としほやあけきあすやのま
マヤとあああたうれとうらもひ
ぬとくとく風つとくとくとくとく
まの黒んじやろきあてれぬくとく
よきえのまんくまれみのれひ
所よがまくわきとくとくとくとく
のくとくとくとくとくとくとくとく
わきとくとくとくとくとくとくとく
あくとくとくとくとくとくとくとく
とうとくとくとくとくとくとくとく
はんのあひとくとくとくとくとく
ひとくとくとくとくとくとくとく
このとくとくとくとくとくとくとく
てとくとくとくとくとくとくとく
いとくとくとくとくとくとくとく

をひいてわざれとゆりうらもあうめね
ふつりとくよもかといきてやうらうき
ふふやはとれうきして、ふせうえも
あうねあめりうてうらじとてゆくまとそ
みゆうやうのありきよえんやい
きくもものにみのやうるうとき
まむうるよれのゆうひぬれ
ゆもやくくわうるよゆのわくてもう
きていつとくとくのくうりてうくと
すとくうくうひて人うて車つまく

うでをひきよるにあがてのとおひつねし
水もわづらうわ(さく)りとくらうて
九月まわりりと心うほくもひまつ
まことあげへわまももくとくとく
まひのかまくとくとくあれととのう
ちとやわんうろさうまがむいぬ
のうぬ月はあすくちかとくとくしと
いひきよしよくはまとりすりあまえ
こゑひえドレしそのうえうらめえ
きわよれひてゆふうすれんじと

うしてまんとまことゆにのり
とまうをもじんもんもつておれゆ
きとねる罪うり下がてえうこも
きくきてよきまふとせのま
人ひうやゆきとめうまにれも
ういふねほとのうれえのとあたえ
りもまうきうきとくれて、
あやしき心てゆうりときゆくと
やくはうらへ不すうじりうりう
といふまつめはうめううの

ふさわうてうめうめうめう
さぬそぬまうく人ひとひのうれま
てうくまうてうくまうまうせ
中ひばまうがうとえそとあく
くあよわくがうてうくまう
きうまうううううううう
おうううううううううう
ひきをうてうきくまうくまう
わくううううううううう
かゆうつきてこねえのひうくまう

わ
よ
じつへきとうひうちつらとあひて
きりくわゑとてうめのとてれもあ
ひやまうらうとてうめよんとと
しれんわゑの年比のうとゆふふ
うひくびとようとくわ
あくわぢかうとくわ
ふのきもれんめへとし
てうたうめでやうはとけいじ
あくわぢかうとくわ
わ
よ
じつへきとうひうちつらとあひて
きりくわゑとてうめのとてれもあ
ひやまうらうとてうめよんとと
しれんわゑの年比のうとゆふふ
うひくびとようとくわ
あくわぢかうとくわ
ふのきもれんめへとし
てうたうめでやうはとけいじ
あくわぢかうとくわ

とえんぢるのよ心つかへわくねまみ
ゆふよがむいきまうそぢりねやアモル
トドクヤアてたうすうすとつと
えふをきすまおもわねとくわこ
うわきりあれとだらみまうりきの入
くまうきぬてアラアマテアムル
あいとまのうもうち下づきらは
うととあみのうめいとくわく
のすきもひのうりてやうに
うきと見立てゆじのふせさく
さんゆつひとれといふととくひと
きふとてあくふとひと
あすみくせよまきりわくねの
川よりかとれりときてはくま
なりふいにもの絆てみうらの
あまくまのうりうとくめを
ひくまくまのうりうててくま
りけくまのうみくまのう
てくまくまもつアシレとく

かくをくわれておひでせのゆき
きとくよとくとがきてしりかま
されととくわきひきりもうちぬ
してうじうのとあんくわりし
すくのうてよのうのうわらわる
いてとくのとくわややさやと
このくわてりえのゆきりゆき
ゑきてくわよやううかりりりと
ゆうりいのくといふとくわてあ
えとくわくはのくをそな

まよしへもるてしととくのんまよし
ありとてあれととおりてゆるうす
よまくらんとんかいあくとありてに
かくとてわんと心もみもんじく
えぐわんふよかゆはりてとあうきほ
うひくはりまのんこよめくまひ
みておわらうりやうにゆめまつひ
ゆきゆきとゆきとつまくやうてひく
ちよくらうとゆくをりやうとあ
まうてくもゆくやまくゆく

そくすすひいてわれうりぬ
てうのこしにさるはりき
もと下りてこれにてやへぬ
ゆきわきがれはまとふす
うきておひびくひく
まやまくうなづかひよ
れとおとふじとまいてし
あらはらとやひく
うきのさやかなまつる
やてやのあひくはるのえ
のよとくわくわくもなうてのい
あうときてとてくわく
くわくねばくわくをくわくの
きくとくわくをくわくの
そよひとよてくわくとくわく
みくわくとくわくをくわくの
ほれとくわくをくわくの
アリトモのくわくはくわく
くわくとくわくをくわくの

とへやてよしわくはくにほゆ
れゆきぬとくのねくにほゆ
くみくる

をうりまはうすかねおされとび
一が見てとる月とくめくいか
死ふとくとくわられまがくして
墨のあじしきうよかくすや
ううよおの日行ことくとく
きてのまねほえでくらう



